

◇災害に強いまちづくりプロジェクト

①全町を挙げた防災意識の向上

- ・防災教育の実施
- ・イベントにあわせて防災啓蒙活動の実施（親子防災クイズなど）
- ・防災訓練フェスティバルの開催（賞味期限近の保存食を活用など）
- ・今回の震災を通じた地域防災の課題の洗い出しと自主防災組織への共有
- ・防災士の育成・連携強化（定期的な意見交換（地域での工夫などの共有））

②今回の地震の検証による防災計画の見直し

- ・避難所の運営に関する定期的な訓練の実施

③災害に対する備え

- ・道路が寸断することを想定した海路の積極活用
- ・景観に配慮した防災インフラの整備（スーパー堤防など過度な対策は不要）
- ・被災時の通信料金の負担軽減

◇魅力ある子育てと教育の環境づくりプロジェクト

①子育てと仕事の両立支援

- ・産科の常設（安心して出産できる環境の整備）

②子育てのための生活環境整備

- ・子育て世代への補助金
- ・子どもの給食の無料化と医療費の無料化の継続

③災害に強く魅力ある保育・教育施設の整備

- ・中心部での学校の建設、安心できる学校の建設（駐在所の併設）
- ・スポーツ複合施設の建設

④穴水で学ぶことに誇りが持てる環境の整備

- ・ふるさと教育の実施（穴水町の歴史・伝統・文化、里山里海、木育など）
- ・農業や漁業など町の特力を活かした課外授業やキャンプ授業の実施
- ・子どもたちが一流に触れる機会の提供
- ・学習スペースの整備（いつでも・誰でも学びのために使える自習室）

◇地域コミュニティとなりわいの再生プロジェクト

①地域コミュニティ維持と再生

- ・仮設住宅コミュニティの維持、町外避難者への情報発信
- ・憩いの場の提供、学生との交流促進

②被災産業への早期再建支援

- ・農林漁業先端技術活用によるスマート化（効率化）・高付加価値化（ブランド化）
- ・担い手への農地の集積・集約化（空き地の農地転用を含む）

③町の魅力の再発見および新たな魅力の創出

- ・オートキャンプ場の整備（普段は観光利用、災害時はベースキャンプに）
- ・新しい観光コンテンツの造成（田舎暮らし体験など）

④企業誘致の強化

- ・大学や専門学校の誘致（食分野など）
- ・先端技術を有する企業に技術実証フィールドとして協力

⑤移住定住人口・関係人口の拡大

- ・空き地・空き家に関するタイムリーな情報提供
- ・職人向けの工房長屋の設置（体験型モノづくり）

◇奥能登の玄関口再生プロジェクト

①穴水駅周辺の再生

- ・駐車場の整備、歩いて楽しめる商店街（イルミネーションなど）
- ・新規開業希望者向けに商店街の空き店舗を一時的に貸出
- ・中心市街地の空き地の活用、大型商業施設の誘致（ショッピングモール等）

②公共交通機関や新たな交通手段の整備

- ・海の玄関口（水陸両用バス、クルーズ船など）、タクシーワンデイパス（乗り放題）発行
- ・町内の複数の拠点を移動できる無人遊覧船の運行、観光用トロツコの整備
- ・移動手段のレンタル（キャンピングカー、オープンカー、バイク等）

③住まいや物流拠点の再整備

- ・新しいアパートの建設、穴水起点の混載物流の実施